

【礼拝賛美】「イエスの血潮で」

(★↓※↓★の順序で歌う)

★イエスの血潮で 救われ いやされ
天の御国へと 導かれる
イエスの血潮で 赦され 満たされ
尊い その血潮で

※天の父と こひつじイエス

ひざまずき歌う 聖なる御名

全地は歌う あがないの歌

栄光は主にあれ

【礼拝賛美】「主はぶどうの木」

(※↓★↓※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です

いつも離れずに

主はぶどうの木 わたしは枝です

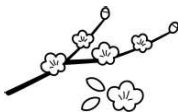
豊かな実を結ぶ

★みことばにとどまり 愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いと いやし

蒲田の住宅街を歩くと、梅が咲いているのが目につきました。寒さの中にも季節は移ろっていることを感じます。春を待ち望み、寒さを忍びましょう。



【外部集会のご案内】

■JHA（日本聖化協力会）主催
聖化フォーラム

「聖化を教会でどう語るか？」

日時 3月2日（月） 10時～12時
会場 インマヌエル中目黒教会
会費 1,000円

発題 照内幸代師（日本ホーリネス教団）
古田大展師（活けるキリストー麦教会）
飯田 岳師（東京フリーメソジスト）
小坂嘉嗣師（日本宣教会）

■ケズイック・コンベンション

日程 2月24日（火）～26日（木）
2月28日（土）、3月1日（日）

会場 ウェスレアン・ホーリネス教団
淀橋教会（新大久保）

※どちらも詳細は、チラシをご覧ください
（礼拝堂入口のマガジンラックにあり）

No.45 2026・2・8

キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。

それはそれとして、あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。妻もまた、自分の夫を敬いなさい。

エペソ人への手紙 5章21節

エペソ人への手紙 5章33節

エペソ書5章後半から6章の前半には、「夫・妻・子・奴隷」とあるように、家庭生活や社会生活について記されています。奴隷は、今の私たちにはなじみません。妻に対して、夫に従いなさいとの言葉も、前時代的に感じるかもしれません。はるか昔に書かれたこの箇所は、私たちに何を語っているのでしょうか。

まず心に留めたいことは、この箇所が教えているのは「秩序」についてです。家庭は役割分担で成り立ちます。もしも親が子どものように、子が親のように振舞うとしたら、その家庭は機能不全に陥ります。残

念なことに、現代では家族の役割が混乱している家庭が少なくありません。家庭に限らず、どんな組織・共同体でも役割分担は肝心で、それが健全に果たされるとき、その組織はうまく機能します。

妻・子・奴隷には従うことが求められていますが、それは家庭には責任者・家長が必要ということです。それが一般的には夫・父であるということで、場合によっては、女性が家長の役割を担うこともあるわけですが、肝心なのは、誰が責任者であるかが明確であるということです。次に、この箇所を読み解く手掛かりとし

たいのは、21節「キリストを恐れて、互いに従い合いなさい」です。ここで用いられる「従う」という語は、「身を下に置く」という意味です。口語訳聖書などでは「仕える」と訳されます。「従う」というと、主従という言葉があるように、お互いの位置関係としては上下を連想します。ここで聖書は「互いに従い合いなさい」と言います。相手に対して、お互いに自分が低い姿勢を取ることが望まれるということです。

人は、相手の上に立とうするものです。キリストの弟子たちは、誰が一番偉いかと言い争いました。それに対して、イエス様は彼らの足を洗い、仕える姿勢を示しました。その背後にあったのは愛であり、その究極は十字架でした。愛のゆえに相手の成長を願って自らが相手に差し出して仕えたとき、弟子たちは成長しました。ここに私たちが追い求める生き方があります（泰）

2月8日 聖日礼拝	
小礼拝	9時 荻野牧師
聖日礼拝	11時 中西と兄 榊原 姉
前 奏	
招 詞	黙示録19章5節
会衆賛美	聖歌504
来たれ友よ ともにイエスの	
会衆賛美	イエスの血潮で
主の祈り	
交 読	詩篇107篇1～9節 (旧約聖書1048頁)
礼拝祈祷	
使徒信条	
聖書朗読	エペソ人への手紙 5章21節～6章9節 (新約聖書 391頁)
説 教	互いに仕え合う関係 荻野泰弘牧師
会衆賛美	主はぶどうの木
献 金	
頌 栄	聖歌376 父御子御霊の
祝 祷	起立
報告	
感謝祈祷	奏楽

【招 詞（主の招きのことば）】
黙示録19章5節「神のすべてのしもべたちよ、神を恐れる者たちよ、小さい者も大きい者も私たちの神を賛美せよ。」
アーメン

【本日の予定】

- 会堂清掃 聖日礼拝後
- 小学校礼拝 11時～3階
お話 ビデオメッセージ
- オールシオン
ホザナオンライン礼拝
11時～6階
お話 林伝道師
- バイブルカフェ
12時15分～ 談話室
- 青年会 例会 午後
映画鑑賞「沈黙」

【本日の礼拝奉仕者】
■小礼拝・オンライン配信
礼拝祈祷 荻野牧師
報告 荻野牧師
配信 配信チーム

■聖日礼拝

- 礼拝祈祷
- 聖書朗読
- 献金1階
- 2階
- 献金祈祷 司会者
- 報告 荻野牧師
- 会場
- 受付
- パワポ パワポチーム

【今週の予定】

- 12（木）祈祷会 10時半～
- 14（土）オールシオン青年会
交わり会

【次週の礼拝説教】

説教者 林伝道師

【受難節・復活節】

シオン教団カレンダーを見ると、2月18日にマークが付かれています。欄外中には「灰の水曜日（レント・受難節の始まり）」と書かれています。今年もイエス様の十字架と復活を記念する季節を迎えます。

受難節（レント）は、キリストの復活を記念するイエスターの前の期間、日曜日を除いた40日間のこと、四旬節とも言われます（厳密には46日前となる）。

古来、キリスト者は、イエス様が私たちの罪を背負って十字架で苦しまれたことを覚え、悔い改めの時として自らを振り返りつつ過こします。灰の水曜日とは、その最初に当たる日に礼拝をささげ、悔い改めの象徴として灰を額につけたことに由来します。

そして、今年は、4月5日が復活祭・イエスター。罪と死の力に打ち勝ち、イエス様が復活したことを記念します。イエス様の復活の故に、私たちは、今、永遠のいのちに生かされ、天の御国への希望を持つことができます。日本教会は、十字架に目を向けるあまりに、復活についての意識が薄いと、昔、熟練した牧師の話しを聞いたことがあります。この世界には多くの苦し

みが満ちています。けれども、復活の主は「わたしはすでに世に勝ちました」（ヨハネ一六33）と仰います。そのいのちに生かされていることを覚えて、力をいただきましょう。

【募集】イエスター賛美チーム

イエスターでは、特別賛美チームによる奉仕があります。ただいま、メンバー募集中です。ご参加ください。礼拝堂掲示板の参加申込表に記名ください。2月22日練習開始です。

【ご案内】

■ゴスペルコンサート（会堂貸出）
プレシヤス・プレイズ
日時 2/28（出） 14時半開演
会場 蒲田シオン 礼拝堂
入場無料。ぜひお越しください。

■有志スノー・キャンプ

日程 3/30（月）～31（火）
参加希望者は吉田潔兄、荻野牧師まで

【報告 消息】

・先週は、例会日でした。今回は、結果的にダニエル・ミモザ・オリープの3会合同となり、映画「死線を越えて

「賀川豊彦物語」のダイジェスト版を視聴。あわせて、賀川豊彦の生涯が紹介された動画も視聴し、クリスチャンとして社会的弱者に目を向け続けた賀川豊彦の生涯について思いを馳せられるように、日本社会には経済格差をはじめとした様々な課題があり、その現実には苦しむ人々がいます。かつてイエス様は、傷つき、悩む人々に寄り添い、福音を語りました。それに倣った賀川豊彦の生き方は、私たちに多くを語りかけているように思います。

例会の開催については、各会長と幹事の兄弟姉妹が思いをくぐり、ありがとうございます。良き交わりの時でした。

・青年会は、本日、例会です。映画「沈黙」を鑑賞します。青年以外でも興味のある方はご参加いただけます。

・CS冬のプログラムは、先週、無事に開催できました。往復の交通も守られて、茅ヶ崎で楽しい時を過ごせました。お祈りを感謝します。

・昨日は、オールシオン青年企画「ふらふら」でした。報告は次週。